

狭山ヶ丘高等学校



入間市

狭山ヶ丘



新2号館

Address 〒358-0011 入間市下藤沢981

生徒数 (高1) 365名 (高2) 319名 (高3) 338名 (2015年5月1日現在)

T E L 04-2962-3844

F A X 04-2962-0656

学期制 3学期制

土曜登校 6日制

一貫生とのクラス編成 高入生と中高部生は
高1は別クラス編成(予定)

共学校



「自ら学ぶ姿勢」と「自己観察教育」

自ら学ぶ姿勢の確立をなによりも重視する

2010年(平成22年)に創立50周年を迎えた狭山ヶ丘高等学校。

その教育の特徴としてあげられるのは、「自ら学ぶ姿勢の確立」を非常に重視している点です。新入生は、入学する前の段階で、小川義男校長先生による「新入生特別指導」を受けます。

この1日8時間にも及ぶ高校英語の予習ゼミを通して、高校入学の段階ですでに自学自習の姿勢を身につけることができます。

もちろん入学後も、平常授業や各種の講習・補習のなかで自学自習の重要性を学べることは言うまでもありません。さらに、19時まで開室している一般自習室や、21時まで使用できる特別自習室(ともに先生が常駐しており、質問などがいつでもできる)などのサポート環境も充実しています。

また、創立者の近藤ちよ先生が発案した「自己観察教育」も特徴です。心を落ち着かせ、自分を省みる「黙想」を毎授業前に3年間繰り返すことで、狭山ヶ丘生には集中力だけではなく、自分の将来や生き方までもじっくりと考える力がついていきます。

細かな類型コース編成で希望進路を実現

生徒のほぼ全員が大学進学をめざす狭山ヶ丘には、3つのコースが用意されています。

それが、東京大をはじめとした最難関国立大の現役合格をめざす「最難関国立大学進学コース(Ⅰ類)」、国公立大や早慶など難関私立大を目標とする「特別進学コース(Ⅱ類)」、部活動にも打ち込みながら、難関大合格もめざす「総合進学コース(Ⅲ類)」の3コースです。

このコース編成がきめ細かな教育を可能にし、生徒それぞれの希望進路を実現します。



2014年6月7日実施 西武ドーム・体育祭

— 安田理のここがポイント! —

自分で考え、学ぶことで進路を実現する

目標として掲げるだけではなく、小川校長先生自らが入学前から特別ゼミを行うことで、「自学自習」がしっかりと身につきます。自分を見つめ、新しい自分を発見する「自己観察教育」と合わせて、自分で考え、学んでいく大切さを重視し、それが大学合格にもつながっている学校です。

推薦入試のポイント

狭山ヶ丘の推薦入試は、中学校の校長先生から推薦を受けて受験する形と自己推薦との2通りがあります。校長推薦は内申や欠席日数に規定があるので、しっかり確認しましょう。